

平成26年度 学校評価書

1. 学校教育目標 よりよい未来に向けて主体的に社会に参画する人間の育成

2. 本校の現状

児童数減少（入学児童4年間0、5、6年生5名）となり、年齢構成からくる学校生活に偏りが見られる状況になってきている。そのような中で学習面においては、複式授業のあり方を検討しながら基礎学力の定着と学力の向上を目指している。日々の授業では、ICT機器を取り入れた授業（算数科）を行っている。また、家庭との連携により、家庭学習・自主学習の充実を図り、児童の意欲が感じられるようになってきている。

生活面においては、少ない人数ではあるが、6年生が中心となり全員が一緒に遊ぶことや係活動による責任感の育成にも力をいれている。

3. 本年度の評価項目

- 〔1〕学力の向上
 - ①学力向上のための組織的な校内研修等の取組
 - ②子どもにわかる授業づくり
 - ③予習・復習の質と量を高める取組
 - ④基礎学力の定着を図る取組
- 〔2〕生徒指導
 - ①読書活動の推進
 - ②道徳・人権教育の推進、指導法の工夫改善
 - ③キャリア教育の推進
- 〔3〕学校・家庭・地域の連携
 - ①PTA・地域との連携による学校づくり
 - ②情報発信による開かれた学校づくりの推進
- 〔4〕体力の向上
 - ①体育授業の充実
 - ②体育・体育的活動の充実
- 〔5〕防災・安全教育の推進
 - ①防災・安全教育の推進
 - ②健康教育の取組

4. 自己評価

評価項目		評価指標	取組状況・成果	評価		次年度の方策
大	中					
〔1〕 学力の向上	①学力向上のための組織的な研修等の取組	・学テ、到達度把握研修会（年3回）				
	②子どもにわかる授業づくり	・わかりやすい授業の肯定的評価80%以上 ・ICTを活用した授業実施（算数科） ・授業力診断平均3.5以上 ・一人学習の手引き作成				
	④予習・復習の質と量を高める取組	・家庭学習目標達成80% ・家庭学習をしている児童の割合80%以上 ・自主学習1日1ページ				
	③基礎学力の定着を図る取組	・1年から自学年の漢字100点 ・各学年の計算問題100点 ・単元テスト県平均以上				

〔2〕 生徒指導	①読書活動の推進	・ボランティアによる読み聞かせ（月2回） ・読書年間目標8848ページ ・毎日読書をしている児童の割合80%以上				
	②道徳、人権教育の推進及び指導法の工夫改善	・道徳、人権の公開授業年1回以上 ・道徳意識調査3.1以上 ・授業力診断平均3以上 ・Q-U診断、満足群100%				
	③キャリア教育の推進	・将来に向けた目標決定と挑戦				
〔3〕 学校・家庭・地域	①PTA・地域との連携による学校づくり	・生活改善と学力向上を一体ととらえた取組 ・保護者のPTA活動への積極的な参加 ・地域の人たちとの連携推進				
	②積極的な情報発信による開かれた学校づくり	・学校たより（月1回）の発行 ・ホームページの更新（週3回以上）				
〔4〕 体力の向上	①体育授業の充実	・授業の中へ体力向上の運動を位置づける ・体力テスト判定B以上 ・体育授業改善に向けた外部人材の活用				
	②体育・体育的活動の充実	・朝マラソンの実施と目標を意識した取組 ・一輪車の目標達成 ・運動好きの児童100% ・生活実態調査目標達成100%				
〔5〕 防災・安全教育の推進	①防災・安全教育の推進	・避難訓練の実施（学期2回以上） ・安全点検（月1回） ・安全見回り・補修（毎日） ・危機管理マニュアルの見直し ・学級生活アンケートの実施（年2回）				
	②健康教育の取組	・生活実態調査目標達成割合80% ・早寝・早起き・朝ご飯の目標達成割合100%				

4 段階評価（4 目標を十分に達成 3 ほぼ目標を達成 2 やや不十分 1 改善を要する）

5. 学校関係者評価